

四半期報告書

(第46期第3四半期)

自 平成21年10月1日

至 平成21年12月31日

ワタベウェディング株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	3
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	4

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7
2 株価の推移	7
3 役員の状況	7

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
2 その他	21

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年2月4日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	ワタベウェディング株式会社
【英訳名】	WATABE WEDDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 渡部 秀敏
【本店の所在の場所】	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
【電話番号】	075（352）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 吉澤 康
【最寄りの連絡場所】	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
【電話番号】	075（352）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 吉澤 康
【縦覧に供する場所】	ワタベウェディング株式会社東京グランドプラザ （東京都中央区京橋1丁目1番6号） ワタベウェディング株式会社大阪グランドプラザ （大阪市北区角田町2番15号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪府中央区北浜1丁目8番16号）

（注）上記の東京グランドプラザ及び大阪グランドプラザは、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期連結 累計期間	第46期 第3四半期連結 累計期間	第45期 第3四半期連結 会計期間	第46期 第3四半期連結 会計期間	第45期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高（百万円）	33,729	40,029	17,302	15,152	46,406
経常利益（百万円）	3,094	1,982	2,517	1,727	2,790
四半期（当期）純利益（百万円）	1,436	906	1,177	842	1,165
純資産額（百万円）	—	—	14,935	15,029	14,544
総資産額（百万円）	—	—	26,461	25,411	25,663
1株当たり純資産額（円）	—	—	1,507.16	1,516.73	1,467.76
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	144.97	91.50	118.83	85.00	117.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（%）	—	—	56.4	59.1	56.7
営業活動によるキャッシュ・フロ ー（百万円）	3,062	1,356	—	—	3,940
投資活動によるキャッシュ・フロ ー（百万円）	△1,698	△1,903	—	—	△2,154
財務活動によるキャッシュ・フロ ー（百万円）	978	277	—	—	△135
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	—	—	5,569	4,664	4,940
従業員数（人）	—	—	2,377	2,489	2,366

（注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第45期第3四半期連結累計（会計）期間、第45期及び第46期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第46期第3四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	2,489 [820]
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は [] 内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	551 [337]
---------	-----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は [] 内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
製品 (百万円)	2,157	82.2

(注) 1. 当社グループは、中国子会社及びベトナム子会社により、ウェディングドレスを中心に生産しており、販売用に限らず、貸衣裳としても利用しております。また、中国子会社及び沖縄ワタベウェディング(株)において、写真アルバムや映像商品、婚礼用品の生産をしております。上記生産実績は、外部顧客に対し販売されたものを集計しており、販売価格にて表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社グループの営業は、当社製品であるウェディングドレスを受注生産するとともに、挙式関連サービス及び国内における貸衣裳を事前受注していますが、商品販売及び海外における貸衣裳は店頭販売しています。そのため、販売実績と整合する受注及び受注残高を表示出来ないため、受注実績は記載しておりません。

(3) 販売実績

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	
挙式関連	12,772	88.4
商製品	820	65.0
貸衣裳	1,304	99.0
その他	255	92.7
合計	15,152	87.6

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績が総販売実績の10%以上の相手先はありません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的に長引く金融不安や失業率の悪化、消費減退などの影響による景気停滞局面の中、底堅くも厳しい状況が続きました。

このような状況下において、当社グループは、個性化・多様化するお客様のニーズに対応すべく、トータル・ブライダル・ソリューションの実現とグローバル展開により、「お客様満足度の向上」と「感動の最大化」を図るため、積極的に事業展開を行ってまいりました。

国内挙式事業におきましては、北海道や沖縄のリゾートウェディングの強化と前連結会計年度に事業を譲り受けたメルパルク11施設が本格稼働し、海外挙式事業におきましては、挙式施設の改装やアジア地域の婚礼事業展開を行い、“リゾート婚”市場の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高15,152百万円（前年同四半期比12.4%減）、営業利益1,648百万円（同36.9%減）、経常利益1,727百万円（同31.4%減）、四半期純利益842百万円（同28.5%減）となりました。

なお、所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

景気停滞による宴会需要の減少や挙式取扱組数が減少となり、売上高は14,627百万円（前年同四半期比12.4%減）、営業利益は1,372百万円（同38.9%減）となりました。

② ハワイ

挙式取扱組数が前年並みに回復しましたが、単価の下落により、売上高は1,171百万円（同11.6%減）、営業利益は155百万円（同22.7%減）となりました。

③ 中国

ドレス生産のベトナム工場へのシフトを進めたことにより、売上高は382百万円（同13.3%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期 営業損失33百万円）となりました。

④ オセアニア

挙式取扱組数が減少し、売上高は156百万円（前年同四半期比35.2%減）、営業利益は13百万円（同5.2%増）となりました。

⑤ ミクロネシア

挙式取扱組数が減少し、売上高は449百万円（同30.3%減）、営業利益は75百万円（同14.3%減）となりました。

⑥ その他の地域

ベトナム工場における操業度の上昇やバリ・欧州挙式の取扱組数が増加したものの、北米・カナダ挙式の取扱組数が減少し、売上高は360百万円（同1.9%増）、営業利益は9百万円（同26.2%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが1,656百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが439百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが170百万円の収入となり、この結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）期末残高は、4,664百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,656百万円（前年同四半期比35.5%減）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益1,683百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は439百万円（前年同四半期比62.0%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得305百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は170百万円（前年同四半期比56.6%減）となりました。これは短期借入金の純増減額による収入額379百万円、配当金の支払額148百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業区分	設備の内容	投資予定金額		資金調 達方法	工期予定	
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着工	完成
当社 挙式施設	米国ハワイ州 ホノルル市	海外挙式 サービス	挙式施設の 新設	700	—	借入金	平成22年 3月	平成22年 10月

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年2月4日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,909,400	9,909,400	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	9,909,400	9,909,400	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日	—	9,909,400	—	4,176	—	4,038

(5)【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成21年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 100	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,907,800	99,078	—
単元未満株式	普通株式 1,500	—	—
発行済株式総数	9,909,400	—	—
総株主の議決権	—	99,078	—

② 【自己株式等】

平成21年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
ワタベウェディング株式会社	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地	100	—	100	0.00
計	—	100	—	100	0.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	1,617	1,645	1,630	1,577	1,507	1,475	1,274	1,175	1,040
最低（円）	1,428	1,534	1,500	1,425	1,425	1,250	1,130	915	940

（注） 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の変動は、次のとおりであります。

役員の変動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	企画運営本部長	取締役	管理本部長	山本 弘也	平成21年12月1日
取締役	アジア事業部長 （注）	取締役	営業本部長	翁長 良晴	平成21年12月1日

（注） 平成21年12月1日付で組織変更を行ったことによるものであります。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人となっております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,667	4,971
売掛金	1,407	1,768
商品及び製品	211	227
仕掛品	24	17
原材料及び貯蔵品	541	578
その他	1,772	1,651
貸倒引当金	△28	△30
流動資産合計	8,594	9,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,346	6,185
その他（純額）	4,760	4,534
有形固定資産合計	* 11,107	* 10,720
無形固定資産	1,457	1,399
投資その他の資産		
差入保証金	3,527	3,557
その他	757	833
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	4,252	4,359
固定資産合計	16,817	16,479
資産合計	25,411	25,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,938	1,984
短期借入金	1,429	1,400
未払法人税等	725	580
前受金	1,819	2,287
賞与引当金	332	839
その他	2,679	3,169
流動負債合計	8,926	10,261
固定負債		
長期借入金	954	386
退職給付引当金	151	129
その他	349	340
固定負債合計	1,455	856
負債合計	10,382	11,118

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	8,011	7,402
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,226	15,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	14
繰延ヘッジ損益	14	28
土地再評価差額金	△906	△906
為替換算調整勘定	△317	△209
評価・換算差額等合計	△1,196	△1,072
少数株主持分	—	0
純資産合計	15,029	14,544
負債純資産合計	25,411	25,663

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	33,729	40,029
売上原価	12,012	13,912
売上総利益	21,717	26,116
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	6,243	8,103
賞与引当金繰入額	595	409
退職給付費用	65	110
その他	11,640	15,630
販売費及び一般管理費合計	18,544	24,253
営業利益	3,173	1,862
営業外収益		
負ののれん償却額	24	—
受取賃貸料	—	58
その他	82	144
営業外収益合計	106	202
営業外費用		
支払利息	22	20
賃貸費用	—	18
為替差損	102	—
その他	60	43
営業外費用合計	186	82
経常利益	3,094	1,982
特別損失		
固定資産除売却損	125	—
施設店舗整理損	—	142
その他	118	26
特別損失合計	244	169
税金等調整前四半期純利益	2,850	1,812
法人税等	1,413	906
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	1,436	906

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	17,302	15,152
売上原価	6,150	5,330
売上総利益	11,152	9,822
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,743	2,789
賞与引当金繰入額	305	173
退職給付費用	26	31
その他	5,464	5,178
販売費及び一般管理費合計	8,540	8,173
営業利益	2,611	1,648
営業外収益		
負ののれん償却額	8	—
受取賃貸料	—	24
為替差益	—	30
その他	21	48
営業外収益合計	29	103
営業外費用		
支払利息	—	6
賃貸費用	—	6
為替差損	89	—
その他	33	11
営業外費用合計	123	24
経常利益	2,517	1,727
特別損失		
固定資産除売却損	108	—
施設店舗整理損	—	31
その他	13	13
特別損失合計	121	44
税金等調整前四半期純利益	2,396	1,683
法人税等	1,218	841
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	1,177	842

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,850	1,812
減価償却費	1,135	1,352
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△506
受取利息及び受取配当金	△17	△5
支払利息	22	20
為替差損益 (△は益)	215	△88
役員退職慰労金	48	—
固定資産除売却損益 (△は益)	125	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△26	361
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	44
仕入債務の増減額 (△は減少)	8	△42
前受金の増減額 (△は減少)	△640	△467
その他	309	△392
小計	4,076	2,106
利息及び配当金の受取額	17	6
利息の支払額	△20	△19
役員退職慰労金の支払額	△209	—
法人税等の支払額	△801	△736
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,062	1,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100	28
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△1,703
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△219	△267
差入保証金の差入による支出	△759	△202
差入保証金の回収による収入	59	214
その他	223	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,698	△1,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,700	40
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△412	△242
配当金の支払額	△297	△297
その他	△12	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	978	277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△201	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,140	△276
現金及び現金同等物の期首残高	3,429	4,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 5,569	※ 4,664

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より株式会社アルケ及び株式会社H・R・S・Sは、また、第3四半期連結会計期間よりワタベヒューマンサポート株式会社は清算したため、連結の範囲から除外しております。 平成21年7月8日付で華徳培婚礼用品（上海）有限公司は華徳培婚礼服務（上海）有限公司と華徳培婚礼創意（上海）有限公司を吸収合併しております。 これにより、変更後の連結子会社数から、上記5社を除外しております。 (2) 変更後の連結子会社の数 20社

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年12月31日)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「負ののれん償却額」は、金額的重要性が乏しくなったため、営業外収益の「その他」に含めております。なお、当第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「負ののれん償却額」は、29百万円であります。

前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取賃貸料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取賃貸料」は18百万円であります。

前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「賃貸費用」は16百万円であります。

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「固定資産除売却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、特別損失の「その他」に含めております。なお、当第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「固定資産除売却損」は、20百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「有形固定資産の売却による収入」は、金額的重要性が乏しくなったため、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めております。なお、当第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「有形固定資産の売却による収入」は、0百万円であります。

当第3四半期連結会計期間
(自 平成21年10月1日
至 平成21年12月31日)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結会計期間において区分掲記しておりました「負ののれん償却額」は、金額的重要性が乏しくなったため、営業外収益の「その他」に含めております。なお、当第3四半期連結会計期間の「その他」に含まれる「負ののれん償却額」は、10百万円であります。

前第3四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取賃貸料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取賃貸料」は4百万円であります。

前第3四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払利息」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払利息」は9百万円であります。

前第3四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「賃貸費用」は6百万円であります。

前第3四半期連結会計期間において区分掲記しておりました「固定資産除売却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、特別損失の「その他」に含めております。なお、当第3四半期連結会計期間の「その他」に含まれる「固定資産除売却損」は、6百万円であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額 <p style="text-align: right;">7,872百万円</p> 減価償却累計額には減損損失累計額が含まれており ます。	※ 有形固定資産の減価償却累計額 <p style="text-align: right;">7,136百万円</p> 減価償却累計額には減損損失累計額が含まれており ます。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 <p style="text-align: right;">(平成20年12月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> 現金及び預金勘定 5,577 預入期間が3か月を超える定期預金 △7 <hr/> 現金及び現金同等物 5,569	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 <p style="text-align: right;">(平成21年12月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> 現金及び預金勘定 4,667 預入期間が3か月を超える定期預金 △3 <hr/> 現金及び現金同等物 4,664

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 9,909,400株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 177株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	148	15	平成21年3月31日	平成21年6月29日	利益剰余金
平成21年11月5日 取締役会	普通株式	148	15	平成21年9月30日	平成21年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当社グループは、婚礼に関連した総合的なサービスの提供を主たる事業としております。前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間並びに前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間においては、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める当該事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	ハワイ (百万円)	中国 (百万円)	オセアニア (百万円)	ミクロネシア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	16,691	1,324	441	240	645	353	19,698	(2,395)	17,302
営業利益(△損失)	2,244	201	△33	12	88	12	2,526	84	2,611

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	ハワイ (百万円)	中国 (百万円)	オセアニア (百万円)	ミクロネシア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	14,627	1,171	382	156	449	360	17,147	(1,995)	15,152
営業利益	1,372	155	3	13	75	9	1,629	18	1,648

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	ハワイ (百万円)	中国 (百万円)	オセアニア (百万円)	ミクロネシア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	31,999	3,544	1,305	713	1,625	1,055	40,244	(6,514)	33,729
営業利益(△損失)	2,551	428	△26	△35	125	65	3,109	64	3,173

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	ハワイ (百万円)	中国 (百万円)	オセアニア (百万円)	ミクロネシア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	38,537	2,953	1,147	360	1,160	1,014	45,173	(5,144)	40,029
営業利益(△損失)	1,441	209	48	△11	83	59	1,831	30	1,862

(注) 国又は地域の区分方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法 …………… 地理的接近度、事業活動の相互関連性を考慮して決定しております。

(2) 各区分に属する国又は地域 …………… ハワイは米国ハワイ州のみをその地域としており、米国のその他の州並びにカナダと区分しております。

また、オセアニアはオーストラリア、ニュージーランド及びタヒチを、ミクロネシアはグアム及びサイパンをその地域としております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	ハワイ	ミクロネシア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,713	890	768	3,372
II 連結売上高（百万円）				17,302
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.9	5.1	4.5	19.5

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

	ハワイ	ミクロネシア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,621	746	513	2,881
II 連結売上高（百万円）				15,152
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.7	4.9	3.4	19.0

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	ハワイ	ミクロネシア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,525	2,164	2,192	8,883
II 連結売上高（百万円）				33,729
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.4	6.4	6.5	26.3

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	ハワイ	ミクロネシア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	3,985	1,950	1,549	7,485
II 連結売上高（百万円）				40,029
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.0	4.9	3.9	18.7

(注) 1. 国又は地域の区分方法及び区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法 …………… 地理的近接度、事業活動の相互関連性を考慮して決定しております。

(2) 各区分に属する国又は地域 …………… ハワイは米国ハワイ州のみをその地域としており、米国のその他の州並びにカナダと区分しております。

また、ミクロネシアはグアム及びサイパンをその地域としております。

2. 海外売上高は本邦で受注した本邦以外での売上高並びに在外支店及び在外連結子会社の売上高であります。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を行っておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を行っておりません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 1,516.73円	1株当たり純資産額 1,467.76円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 144.97円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 91.50円 同左

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(百万円)	1,436	906
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,436	906
期中平均株式数(株)	9,909,270	9,909,223
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	平成16年6月29日開催の定時株主総会にて付与した新株予約権については、平成21年7月31日をもって失効いたしました。

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 118.83円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 85.00円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(百万円)	1,177	842
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,177	842
期中平均株式数(株)	9,909,258	9,909,223
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載を行っておりません。

2 【その他】

平成21年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

中間配当金の総額	148百万円
1株当たり中間配当額	15円
支払請求の効力発生日及び 支払開始日	平成21年12月1日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月5日

ワタベウェディング株式会社

取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 丹治 茂雄 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 下井田晶代 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワタベウェディング株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワタベウェディング株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月2日

ワタベウェディング株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

<u>指定有限責任社員 業務執行社員</u>	公認会計士	丹治 茂雄	印
----------------------------	-------	-------	---

<u>指定有限責任社員 業務執行社員</u>	公認会計士	下井田晶代	印
----------------------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワタベウェディング株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワタベウェディング株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。